

東大和三中だより

令和4年1月17日

1月号 (No. 9)

発行 東大和市立第三中学校
〒207-0016 東大和市仲原2-7
TEL 042-564-5411

今年もよろしく申し上げます

校長 久森 信

新年明けまして、おめでとうございます。今年もよろしくお願ひいたします。

いよいよ令和4年(2022年)となり、気持ちも新たに「がんばろう」とスタートを切ったことと思います。しかし、オミクロン株による新型コロナウイルスの感染者が急増し、今後の学校運営が通常通りにできないのではという心配もあります。どんな状況でも、学校では今やるべきことにしっかりと取り組み、感染予防策を徹底するしかありません。ご家庭でも、引き続き感染予防へのご協力をお願いいたします。

学校は、ホップ・ステップからジャンプの3学期となります。年間総仕上げの3学期。そして、4月からの進級・進学等に備える3学期です。1年間の総まとめ、総仕上げをして、一人一人が自分の良さの可能性を見いだす学期です。私たち教職員は、生徒たち一人一人が、この1年間でどう成長したか、次の年度に期待することは何かを具体的に見だし、希望や目標を高く持って新たな年度に向かうよう支援していきたいと考えています。そのために、次の2つのことに取り組んで下さい。

① 学習では、この1年間の復習を行い、自分が苦手なところを克服する努力や学び残しをなくすための取組をしていきましょう。

特に3年生は、上級学校進学前に中学校の学習内容をしっかりと身に付けておくことで、スムーズな新生活のスタートを切ることができます。

② 生活面では、友達の良いところや自分の良いところを互いに認め、感謝の気持ちで終われるようにしていきましょう。

「一年の計は元旦にあり」ということわざがあるように、目標を立ててものごとに取り組むには、持って来いの1月です。皆さんが立てた目標を、先生たちも全力で応援しサポートします。実りある令和4年となるように、頑張りましょう。

さて、2月4日から中国の北京で冬季オリンピックが開催されます。怪我から復帰し、オリンピック3連覇がかかる男子フィギュアスケートの羽生結弦選手の活躍などが期待されています。また、スキージャンプ週間で2連覇を果たし、金メダル最有力と言われているスキージャンプの小林陵侑選手も注目です。その小林陵侑選手が所属しているチームは、レジェンド葛西紀明選手が選手兼監督を務めています。今回葛西選手は、代表入りはできませんでしたが、1992年アルベールビル大会から前回の平昌大会まで8大会連続で出場しています。そんなレジェンド葛西選手も長野で行われたオリンピックでは、日本中が歓喜したジャンプ団体金メダルのメンバーから外れるという挫折も味わいました。やけ酒を飲み、悔し涙を流したそうですが、後に「悔しかったが、素晴らしいライバルがいたからジャンプを続けられたと思っている。」と語っています。大きな怪我にも見舞われながら、何度も復活して50歳になる現在でも世界のトップ選手と戦えるのは、共に競い合える仲間がいるからなのです。

三中の皆さんにも、「競い励まし共に成長できる仲間」がたくさんいます。「上手くいかなかった自分を受け入れて、次どうしたらもっと良くなるのか。」を考えられること、そしてそれを「温かく見守り、励ます仲間がいること。」が大切です。これを「切磋琢磨(せつさたくま)」と言います。今年も切磋琢磨し、誰もが成長できる三中であってほしいです。

新型コロナウイルス感染予防について

新型コロナウイルス感染予防に対して、学校でも様々な取り組みを行っていますが、全国的に感染の拡大が広がっています。感染予防に関して、あらためて以下の通りお知らせいたしますので、ご確認ください。

- ① 発熱や頭痛、せき症状など、体調がすぐれないときはご連絡いただき、登校をお控えください。ご家族の中で同じ状況の方がいらした場合は同じです。欠席扱いではありません。必ずご連絡ください。
- ② 市中での感染が広がっている中ですので、感染の不安がある場合も、症状の有無に限らず登校を控えていただいて構いません。教科によってはリモート授業が可能です。学校へのご連絡、ご相談をお願いいたします。

三中生の活躍！



冬休みの宿題となっていました「書き初め」を教室に掲示しました。文字のとめ、はね、バランスなど書写の学習を生かし、どの作品も素晴らしい出来栄です。



写真上段から1年生、2年生、3年生の順です。

三中日記

体温自動測定器の設置

新型コロナウイルス感染対策の一環として、体温自動測定器が、校内の3か所に設置されました。公共の施設ではおなじみの機器ですが、学校でも取り入れることになりました。設置直後は我も我もと楽しそうに測定する姿がありました。しかしこのところの感染拡大の状況に、自分の体調管理の重要性を感じてか、真剣な表情で測定する生徒が増えたような気がします。ご家庭でも毎日の健康カードの記入と体調管理をよろしくお願いいたします。



新しい標準服

開校50周年を機に、令和4年度の新入生から標準服を新しくすることになりました。これまでの生徒からの要望などを取り入れ、ズボンやスカートにチェックの柄が入り、ネクタイやリボンの色が変わります。感染予防の観点から標準服を着用する機会が減りましたが、服装を正す意識をもち、身だしなみをしっかりと整えましょう。



